身体拘束の廃止が診療報酬では評価されない ~認知症ケア加算のあり方の問題点~ に関する研究

1. 研究の対象

2016年4月~2016年12月に当院で慢性硬膜下血腫で手術を受けられた方2018年4月~2018年12月に当院で慢性硬膜下血腫で手術を受けられた方

2. 研究目的•方法

本研究の目的は、認知症ケア加算のあり方、算定要件における問題提起である。

研究期間:31年2月(倫理審查委員会承認後)∼ 31年7月31日

調査期間:28年4月1日 ~ 30年12月31日

・研究分担者(所属・氏名): 美原記念病院 看護部 髙橋 陽子 美原記念病院 事務部 飯島 拓也 認知症疾患医療センター 神澤 孝夫 美原記念病院 院長 美原 盤

• 研究計画

① 研究の意義

現行の認知症ケア加算のもと、身体拘束廃止に向け活動をした結果、算定件数が減るという事態に陥ってしまった。身体拘束廃止に向けた質の高い認知症ケアが、診療報酬で適切に評価されることが望ましく、評価が適切になされることで、質の高い認知症ケアを実施する必要性が、臨床の場に意識されると期待する。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

方法:診療録等から患者データを収集し、分析する。

ア: 平成 28 年と 30 年の 4 月から 12 月までの、入院患者数、年齢、認知症高齢者の日常生活自立度、身体拘束実施率、ケア加算算定点数の抽出 等

イ:上記期間の、慢性硬膜下血腫で手術を受けた者の、せん妄発症率、および手術当日と術後二日目のケア介入数の抽出 等

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。 ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計 画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先:

公益財団法人脳血管研究所 附属美原記念病院 伊勢崎市太田町 366

0270-24-3355

研究責任者:美原記念病院看護部 清水みどり